

2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月22日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス
 コード番号 4929 URL <https://www.adjuvant-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3135
 定時株主総会開催予定日 2022年6月16日 配当支払開始予定日 2022年6月17日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月16日
 決算補足説明資料作成の有無：有 (録画配信：有)
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績（2021年3月21日～2022年3月20日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	4,427	△9.4	390	33.3	401	23.1	393	176.1
2021年3月期	4,885	4.5	292	—	325	—	142	—

(注) 包括利益 2022年3月期 395百万円 (168.4%) 2021年3月期 147百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	49.13	49.08	9.4	7.5	8.8
2021年3月期	17.83	17.76	3.5	6.3	6.0

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 ー百万円 2021年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	5,661	4,317	76.3	537.31
2021年3月期	5,096	4,092	80.3	512.18

(参考) 自己資本 2022年3月期 4,317百万円 2021年3月期 4,092百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	417	24	△179	1,744
2021年3月期	403	△235	△169	1,469

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	191	134.6	4.7
2022年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	192	48.9	4.6
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		58.2	

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年3月21日～2023年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,471	9.9	△161	—	△156	—	18	△89.4	2.27
通期	5,405	22.1	248	△36.2	259	△35.3	331	△15.7	41.27

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2022年3月期	8,043,600株	2021年3月期	7,996,200株
2022年3月期	8,403株	2021年3月期	6,403株
2022年3月期	8,002,391株	2021年3月期	7,986,970株

(参考) 個別業績の概要

2022年3月期の個別業績（2021年3月21日～2022年3月20日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	2,574	△38.1	324	98.1	344	83.4	348	—
2021年3月期	4,157	4.3	163	—	187	—	△253	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
		円 銭
2022年3月期	43.51	43.47
2021年3月期	△31.75	—

(注) 1. 2021年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(注) 2. 当社は、2021年9月21日付で持株会社体制へ移行しております。これに伴い移行日以降の事業から生じる収益（営業収益）については、売上高に含めて表示しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	4,875	4,291	88.0	534.05
2021年3月期	5,113	4,113	80.4	514.83

(参考) 自己資本 2022年3月期 4,291百万円 2021年3月期 4,113百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5頁「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年4月25日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気に持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による厳しい状況が残り、一部に弱さがみられる中で推移しました。2022年に入り、国内一部の都道府県でのまん延防止等重点措置の実施及び延長、ウクライナ情勢などによる不透明感がみられる中で、個人消費や企業の業況判断は持ち直しの動きに足踏みがみられるなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び地政学リスクによる国内外の動向に引き続き留意が必要な状況です。

美容業界におきましては、消費者の化粧品の購入先としてコロナ禍でショッピングモールや百貨店などでの対面販売に代わりECサイト（ECモール・ブランドサイト）での購入機会が増加しております。一方で理美容市場におきましては、サロン※注1からの専門的な知識によって提案されるサロン専売商品に対するニーズが高まっており「店販の価値」が再認識されているため、店販売上は引き続き前年を上回って推移しております。当社グループ商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

売上高につきましては、営業活動に制限があるなか、オンラインを活用する等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に十分注意しながら営業活動を推進した結果、当連結会計年度の売上高は4,427百万円（前期比9.4%減）となりました。詳細は区分別売上高の概要をご参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当連結会計年度末で9,039軒（前期末比643軒増）、実稼働軒数は、7,937軒（前年同期比382軒増）となりました。

利益面におきましては、持株会社化に伴う経費の発生がありましたが、売上総利益の改善及び連結子会社除外に伴う人件費等の管理費の減少により、営業利益390百万円（前年同期比33.3%増）、経常利益401百万円（前年同期比23.1%増）となりました。また、土地の売却による特別利益40百万円の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は393百万円（前年同期比176.1%増）となりました。

なお、当社は経営管理体制を再構築するため、2021年9月21日付で持株会社体制へ移行いたしました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,567	32.1	1,748	39.5	181	11.5
ヘアケア	2,725	55.8	2,933	66.3	208	7.6
その他	923	18.9	97	2.2	△825	△89.4
売上割戻金	△331	△6.8	△353	△8.0	△21	6.6
合計	4,885	100.0	4,427	100.0	△458	△9.4

(注) 1. ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでおります。なお、前連結会計年度の「その他」には、2021年3月1日付で連結除外したエクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	4,686	95.9	4,227	95.5	△458	△9.8
海外売上高	199	4.1	199	4.5	△0	△0.2
合計	4,885	100.0	4,427	100.0	△458	△9.4

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

（スキンケア）

スキンケア商品の売上高は、「A E R i c h」シリーズの限定商品の売上が好調であることに加えて、第2四半期からのキャンペーン等の販促活動の効果が続いたこともあり、前期を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,748百万円（前期比11.5%増）となりました。

（ヘアケア）

ヘアケア商品の売上高は、前期投入した「K A S U I（カスイ）」※注3の発売開始から1年が経過しましたが、引き続き好調に推移しており、前期を上回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,933百万円（前期比7.6%増）となりました。

（その他）

ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）の海外売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続いておりますが、徐々に回復基調にあります。

2021年4月に設立した株式会社2C（連結子会社）におきましては、「強く、美しく、生きる。」をブランドコンセプトとした育毛剤「N U O S S（ヌオス）」※注4シリーズをECサイト（<https://nuoss-tech.com/>）にて2021年10月5日より発売し、楽天市場やAmazonでのオンライン販売も開始しております。当連結会計年度における影響は軽微ですが、今後積極的に販促活動を展開する予定となっております。

なお、前連結会計年度の「その他」には、2021年3月1日付で連結除外したエクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は97百万円（前期比89.4%減）となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「K A S U I（カスイ）」

国立研究開発法人理化学研究所との共同研究により機能性成分を見出し、その後当社グループにて処方した新ヘアケアブランドであります。

※注4「N U O S S（ヌオス）」

国立研究開発法人理化学研究所との共同研究により機能性成分を見出し、その後当社グループにて処方した新ヘアケアブランドであります。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して565百万円増加の5,661百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して520百万円増加の3,244百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金274百万円、商品及び製品92百万円、仕掛品114百万円、原材料及び貯蔵品113百万円の各増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して44百万円増加の2,417百万円となりました。主な変動要因は、土地の売却などによる有形固定資産の減少137百万円、金融商品の購入、繰延税金資産の計上などによる投資その他の資産合計の増加191百万円によるものであります。

負債合計は 前連結会計年度末と比較して340百万円増加の1,344百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して332百万円増加の879百万円となりました。主な変動要因は買掛金の増加76百万円、未払金の増加71百万円、未払法人税等の増加171百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して8百万円増加の464百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して225百万円増加の4,317百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する当期純利益による増加393百万円、配当金の支払による減少191百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.3%から76.3%となりました。1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の512.18円から537.31円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は営業活動及び土地の売却で獲得した資金を主に配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて274百万円増加し、当連結会計年度末残高は1,744百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は417百万円（前期比14百万円増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益439百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は24百万円（前期は235百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入154百万円、余資運用による金融商品の購入による支出100百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は179百万円（前期比10百万円増）となりました。これは主にストックオプションによる株式の発行による収入21百万円、配当金の支払額191百万円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率（％）	79.4	77.5	78.5	80.3	76.3
時価ベースの自己資本比率（％）	142.3	129.3	136.5	179.0	154.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.2	0.8	1.5	0.1	0.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

- （注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。
 4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。
 5. インタレスト・カバレッジ・レシオは、利息の支払額に重要性がないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び地政学リスクの影響により、先行き不透明な状況であることから、サロン経営にとっても厳しい環境が続くと予想されます。

2021年10月22日公表の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書について」及び本日2022年4月22日公表の「中期経営計画(2023年3月期～2025年3月期)策定に関するお知らせ」のとおり、まずはこの3カ年において、プライム市場基準充足に向け企業価値向上に取り組んでまいります。

次期売上高につきましては、理美容専売事業において新しくスキンケア3ライン、ヘアケア1ラインのリニューアルを行い、スキンケア、ヘアケアの伸長に努めてまいります。また、EC事業は、2023年3月期より実質の初年度として本格稼働いたします。

販売管理費につきましては、上記新商品のプロモーション費用、EC広告費用、新規採用に伴う人件費、研究開発費等の費用が増加する計画となっております。

なお、保有する投資有価証券の譲渡に伴い、投資有価証券売却益263百万円を特別利益として計上いたします。

以上の結果、連結売上高5,405百万円(当期比22.1%増)、連結営業利益248百万円(当期比36.2%減)、連結経常利益259百万円(当期比35.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益331百万円(当期比15.7%減)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考え、業績を勘案し安定した配当を継続的に行うことを基本方針とし、当事業年度の配当金につきましては、期末配当金として1株当たり24円としました。次期の年間配当金は1株当たり24円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間比較可能性及び期間比較可能性等を勘案し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢及び国内の同業他社の適用動向等を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当連結会計年度 (2022年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,849	1,744,072
売掛金	385,507	377,887
商品及び製品	625,564	717,656
仕掛品	5,368	119,646
原材料及び貯蔵品	81,515	194,982
その他	159,235	93,790
貸倒引当金	△3,436	△3,628
流動資産合計	2,723,604	3,244,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,128,438	1,126,905
機械装置及び運搬具	67,278	66,990
工具、器具及び備品	283,691	322,236
土地	694,283	579,283
リース資産	67,301	53,628
その他	—	110
減価償却累計額	△661,766	△707,810
有形固定資産合計	1,579,226	1,441,344
無形固定資産		
ソフトウェア	65,579	51,830
その他	5,490	10,267
無形固定資産合計	71,069	62,098
投資その他の資産		
投資有価証券	443,432	542,654
長期貸付金	71,861	51,025
繰延税金資産	71,281	192,752
保険積立金	80,303	88,261
その他	61,699	45,439
貸倒引当金	△6,430	△6,230
投資その他の資産合計	722,147	913,902
固定資産合計	2,372,443	2,417,345
資産合計	5,096,048	5,661,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当連結会計年度 (2022年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,169	180,751
リース債務	7,934	10,897
未払金	253,897	325,442
未払法人税等	3,675	174,761
賞与引当金	91,108	99,202
その他	86,720	88,818
流動負債合計	547,506	879,873
固定負債		
リース債務	15,030	19,181
退職給付に係る負債	48,003	52,443
資産除去債務	8,857	8,406
長期未払金	384,470	384,470
固定負債合計	456,362	464,501
負債合計	1,003,868	1,344,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	765,630	776,580
資本剰余金	737,334	748,283
利益剰余金	2,600,175	2,801,599
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	4,097,307	4,320,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,904	△5,482
為替換算調整勘定	△223	2,228
その他の包括利益累計額合計	△5,128	△3,254
純資産合計	4,092,179	4,317,376
負債純資産合計	5,096,048	5,661,751

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
売上高	4,885,682	4,427,063
売上原価	1,888,182	1,485,299
売上総利益	2,997,499	2,941,763
販売費及び一般管理費	2,704,565	2,551,402
営業利益	292,934	390,360
営業外収益		
受取利息	3,900	3,847
受取配当金	4,801	6,230
受取家賃	1,750	1,547
助成金収入	12,239	2,496
為替差益	662	9,441
貸倒引当金戻入額	1,659	200
雑収入	9,794	512
営業外収益合計	34,807	24,277
営業外費用		
支払利息	40	—
貸倒引当金繰入額	900	—
解約違約金	—	12,800
雑損失	947	819
営業外費用合計	1,888	13,619
経常利益	325,853	401,018
特別利益		
固定資産売却益	—	40,000
投資有価証券売却益	35	—
ゴルフ会員権売却益	811	—
その他	—	39
特別利益合計	847	40,039
特別損失		
固定資産除却損	1,276	340
投資有価証券評価損	100,079	—
関係会社株式売却損	329	—
減損損失	43,253	1,175
その他	226	—
特別損失合計	145,166	1,515
税金等調整前当期純利益	181,534	439,541
法人税、住民税及び事業税	17,334	167,577
法人税等調整額	21,819	△121,215
法人税等合計	39,153	46,362
当期純利益	142,381	393,179
親会社株主に帰属する当期純利益	142,381	393,179

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
当期純利益	142,381	393,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,484	△578
為替換算調整勘定	△1,651	2,452
その他の包括利益合計	4,832	1,873
包括利益	147,214	395,053
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	147,214	395,053
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	759,671	731,374	2,648,728	△5,833	4,133,941
当期変動額					
新株の発行	5,959	5,959			11,919
剰余金の配当			△191,135		△191,135
親会社株主に帰属する当期純利益			142,381		142,381
連結範囲の変動			201		201
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	5,959	5,959	△48,553	—	△36,633
当期末残高	765,630	737,334	2,600,175	△5,833	4,097,307

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△11,388	1,427	△9,960	4,123,980
当期変動額				
新株の発行				11,919
剰余金の配当				△191,135
親会社株主に帰属する当期純利益				142,381
連結範囲の変動				201
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	6,484	△1,651	4,832	4,832
当期変動額合計	6,484	△1,651	4,832	△31,800
当期末残高	△4,904	△223	△5,128	4,092,179

当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	765,630	737,334	2,600,175	△5,833	4,097,307
当期変動額					
新株の発行	10,949	10,949			21,898
剰余金の配当			△191,755		△191,755
親会社株主に帰属する当期純利益			393,179		393,179
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	10,949	10,949	201,424	—	223,323
当期末残高	776,580	748,283	2,801,599	△5,833	4,320,630

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△4,904	△223	△5,128	4,092,179
当期変動額				
新株の発行				21,898
剰余金の配当				△191,755
親会社株主に帰属する当期純利益				393,179
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△578	2,452	1,873	1,873
当期変動額合計	△578	2,452	1,873	225,197
当期末残高	△5,482	2,228	△3,254	4,317,376

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	181,534	439,541
減価償却費	110,643	110,294
特許権償却	—	137
株式報酬費用	2,362	2,952
減損損失	43,253	1,175
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,455	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,765	8,094
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,582	4,440
受取利息及び受取配当金	△8,702	△10,078
支払利息	40	—
為替差損益 (△は益)	△742	△9,387
固定資産除却損	1,276	340
投資有価証券売却損益 (△は益)	△35	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	100,079	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△40,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,111	7,620
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,738	△319,836
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,990	76,581
その他	△6,058	130,018
小計	390,064	401,885
利息及び配当金の受取額	8,702	10,078
利息の支払額	△40	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	4,383	5,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,108	417,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,892	△42,556
有形固定資産の売却による収入	—	154,863
無形固定資産の取得による支出	△40,313	△5,884
投資有価証券の取得による支出	△54	△900,054
投資有価証券の売却による収入	36	800,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△151,203	—
定期預金の払戻による収入	6,000	—
保険積立金の積立による支出	△8,926	△7,958
その他	4,164	25,983
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,190	24,391
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	40,000	240
長期借入金の返済による支出	△17,755	△240
リース債務の返済による支出	△12,498	△9,868
株式の発行による収入	11,919	21,898
配当金の支払額	△191,220	△191,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,555	△179,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△826	11,683
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,463	274,223
現金及び現金同等物の期首残高	1,472,313	1,469,849
現金及び現金同等物の期末残高	1,469,849	1,744,072

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期など正確に予測することは、困難な状況となっておりますが、当連結会計年度における新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社グループ事業への影響は限定的であったため、将来においても影響は限定的であると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済環境に変化が生じた場合は、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（セグメント情報）

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)		当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)	
1株当たり純資産額	512.18円	1株当たり純資産額	537.31円
1株当たり当期純利益	17.83円	1株当たり当期純利益	49.13円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	17.76円	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	49.08円

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	142,381	393,179
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	142,381	393,179
普通株式の期中平均株式数（株）	7,986,970	8,002,391
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	28,719	8,410
（うち新株予約権（株））	(28,719)	(8,410)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

（子会社の設立）

当社は、2022年3月23日開催の取締役会において、下記のとおり子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、2021年9月21日付で持株会社体制へ移行し、経営資源配分の最適化を進め、意思決定の迅速化を図り、経営管理体制の再構築を進めております。

この度、カラー剤等のサロン向け業務用美容材料を販売することを目的とした子会社を設立することといたしました。今回の子会社設立により、販路拡大とサロンとの関係性をより強固なものとし、当社グループの更なる発展を目指すものであります。

2. 設立する子会社の概要

- （1）商号 株式会社シアール・プロフェッショナル
- （2）所在地 神戸市中央区
- （3）代表者 中川 秀男（当社取締役 管理本部本部長兼総務部部长）
- （4）事業内容 サロン向け業務用美容材料の販売
- （5）資本金 30百万円
- （6）設立時期 2022年4月
- （7）出資比率 株式会社アジュバンホールディングス 100%

（投資有価証券の売却）

当社は、2022年3月23日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の譲渡を決定し、下記のとおり取引を完了しております。

1. 譲渡の理由

保有投資有価証券の見直しと有効活用を図るため。

2. 株式譲渡の内容

- （1）譲渡株式：当社保有の投資有価証券1銘柄
- （2）譲渡日：2022年3月28日

3. 損益に与える影響

当該投資有価証券の譲渡に伴い、2023年3月期において、投資有価証券売却益263百万円を特別利益として計上する予定であります。